第12回全国ホームタウンサミットin大分かわらばん



制意

発行日 2012. 2. 12(SUN)

第12回全国水一山分ウンサミットin大分

辛口な基調講演

基調講演では、サッカー解説者のセルジオ越後氏を講師に招き、「スポーツによるまちづくり」をテーマにご講演いただきました。

冒頭、このテーマが「スポーツによるまちづくりでは」なく、「サッカーによるまちづくり」に変えるべきだと、早速の辛口 批評をいただきました(汗)

しかし、地域全体でクラブを応援する文化を作り出すことの大切さを説かれ、そのためには、他人に関心を持ち、人とつながっていくことが必要である、「人が財産」であると結論付けられました。

また、大分の例も多く取り上げていただき、参加された皆様にも大分を取り巻く環境を分かっていただくいい機会にもなったのではないかと思います。



朝までつづいた懇親会!



毎年恒例となっている懇親会でのアピールタイムは、リーグ開幕直前とあって、試合さながらの白熱したやり取りが展開されました。被災地からのお礼のあいさつや元気な歌声、皮肉たっぷりのシーズン優勝報告など、各地域ならではのPRには、ブーイングと拍手がやむことなく続き、アルビレックス新潟による恒例のじゃんけんポン大会も開催されました。

J1昇格を果たしたサガン鳥栖からは特別 ゲスト、ウィントスも訪れ、盛り上げに一役 かってくれました。

皆さんと撮った集合写真。ちゃんと写っていますか?小さいですのでしっかり確認してくださいね(笑)

今日の予定

次回開催地はどこだ!?

本日は大分ならではの活動、そして九州ならではの活動を紹介する地域活動報告会や、昨日行われた分科会での討議報告などを行い、最後に次回開催地の発表をします。

なお、本日13時より、大分をホームタウンとするbjリーグバスケットボールチーム『大分ヒートデビルズ』 のホームゲームが大分県立総合体育館で開催されます。ここコンパルホールよりタクシーで10分程度の 距離ですので、是非お時間のある方々は、サッカーとは一味違ったバスケットボールの迫力を是非体感 しに足を運ばれてください。



第1分科会「スポーツによるまちづくり」 基調講演にも負けず劣らずの辛口な討論に!

第1分科会では、毎年恒例の「スポーツによるまちづくり」について、竹田氏、高橋氏、傍士氏の軽妙且つ分かりやすい話を聞いてから、みんなでともに楽しくも辛口なディスカッションを繰り広げました。主に、「ホームタウンは各市町村単位に細分化すべき」と、「スポーツは楽しむべき」という2つのテーマで話し合いをしましたが、予定時間では足りないぐらいに白熱した議論が繰り広げられました。



第2分科会「クラブ運営について」 地方だからこそできることがある!



第2分科会では、大分にあるふたつのスポーツクラブ の現状報告や目標を発表しました。

1つ目は大分トリニータを運営する大分フットボールクラブの青野氏から、栄光と挫折を味わったクラブとして、負の遺産の整理をし、信頼の回復に努めるための社内改革を実施していることを発表しました。

2つ目は地域に根ざしたクラブ活動を行うカティオーラの佐藤氏からで、地域のリーダーの育成、発達に応じた適切なサッカー環境を作ることの必要性を発表しました。地方だからこそ出来ることを考え、都会にはない良さを活かしたチームづくり、ホームタウンづくりをしようと、コメンテーターである有元氏にまとめていただきました。

第3分科会「ボランティアのスキル向上」 「ボランティアを楽しむこと」と「リーダーのスキルアップ」を!

第3分科会では、まず前田氏による基調講演が行われました。その中では、イギリスの例を挙げ若者のボランティア参加の重要性を説かれました。つづいて大分トリニータボランティアの会神田氏、松田氏による活動報告を行い、その後6グループに分かれグループディスカッションが行われました。

「有償、無償について」、「ポジションの固定化」、「心がけていること」、「高齢化問題、後継者不足について」、「組織化」、「リーダーのスキル向上」と、それぞれ様々なテーマで議論を行いました。

